

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立鍛神小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の定着
日常生活の充実

2 課題解決の具体策

基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせる。
日常生活の充実を図る。

3 取組の概要

について

(1) チャレンジタイム（朝学習）の実施

- ア 毎週火曜日と木曜日に研究部が作成した、計算を中心とした算数プリントを行う。
- イ 毎週水曜日は漢字や言葉を中心とした国語プリント等を行う。

(2) 朝読書の実施

- ア 偶数月の月末の1週間を朝の10分間読書を行う。

(3) 読み語り会の実施

- ア 定期的（毎月）に地域のボランティア団体「マシュマロ」による読み語り会を行う。

(4) 個に応じた指導の充実

- ア 補充的な学習を実施する。
- イ 算数TTの効果的な活用を図る。
- ウ 個人カルテによる実態把握と検証，指導計画の作成をする。
- エ 学習内容の定着の様子の確認をする。（個人ファイ



について

(1) 生活のリズム（基本的生活習慣）を整える

- ア 「早寝 早起き 朝ごはん」を家庭・地域に啓発する。（リーフレットの配布等）
- イ 「鍛神小学校の学力向上プラン」を家庭・地域に啓発する。（リーフレットの配布等）

(2) 家庭学習を奨励する

- ア 家庭学習のポイントやヒントを配布し，協力を呼びかける。
- イ 家庭学習の1週間の学習計画を立てさせ，点検をする。

4 成果と課題

チャレンジタイムを実施することにより，自ら学習に取り組もうとする態度が見られ，計算力や漢字を中心とした言語事項の習熟度が高まってきた。

朝読書や読み語り会を実施することにより，意欲的に読書に親しもうとする意欲が高まった。

個に応じた指導をすることで，児童の学習への取組みが意欲的になった。

学力向上プランのリーフレットを配布し家庭学習を奨励したことで，実施率が上がってきた。

学力向上プランの評価シートやCRTを全学年で実施することにより，成果と課題を洗い出し，改善につなげることができた。

チャレンジタイムや朝読書は高学年は自主的にできるが，今後は低学年の児童も自ら取り組めるように指導していきたい。

個に応じた指導では，補充的な学習の時間をさらに確保していきたい。

児童及び家庭に対して，家庭学習の仕方をさらに詳しくしたものを提示していき，実施率をさらに向上させていきたい。